

千葉商大 同窓会 鳥取県支部報

2018年(平成30)年5月1日
第19号
千葉商大同窓会鳥取県支部
支部長 渡辺紀雄
事務局 〒683-0051 米子市藤田町16
森尾邦夫内
TEL0859-33-7002



「第十九号支部報に 寄せる報告とお願い」

支部長 渡辺紀雄

千葉商科大学同窓会鳥取県支部
会員の皆様には、お変わりなくお
過ごしの事と拝察申し上げます。

去年は三十三年ぶり歴代五番目
の九十一センチの積雪を記録した
鳥取県東部でしたが今年は雪らし
い雪もなく三月の内に桜の花が満
開になると云う、これも記録的な
春のおとずれを少し戸惑いを感じ
ながら迎えることとなりました。
平成二十九年においては、十月
二十九日(日)鳥取市のホテルモ
ナーク鳥取で県支部総会を開催し
「事業報告」「決算報告及び会計監
査報告」「次年度予算案」につい
て質疑承認の後、出席者全員で懇
親会を行い現況報告、情報交換を
行いました。
会員の皆様においてはそれぞれ

の立場での活躍中という事もあり
今回は四名の参加で例年に比べ少
し寂しい総会になりましたが、無
事終了致しました。

又、Dブロック支部長会が平成
三十年三月三日(土)に徳島市で
開催され七県八名と本部同窓会長
の参加で各支部の現状報告、提案
要望、今後のあり方などについて
話し合いがもたれ活発な交流が行
なわれました。

昨年引き続き森尾幹事長に代理出
席をお願い致しました、後日報告
を受けております。支部長会の内
容については別途報告記事を掲載
しております。

又、母校においては今年が創立
九十周年という事で記念式典が十
一月十七日に開催されます。

最後になりましたが早いもので、
この鳥取県支部も今回で第十九号
の発行となりました。平成十一年
八月八日米子国際ホテルにおいて
鳥取県支部設立総会が開催されて
から来年で二十周年の節目を迎え
る事となります。

平成三十年六月十七日(日) 県

中部の倉吉市において県支部総会
を開催致します。

鳥取県支部設立二十周年を沢山
の参加で盛大に祝う記念行事を計
画したいと考えておりますので是
非とも、今年の総会にご出席いた
だき、ご意見をいただきたく願
い申し上げます。



第三号議案

平成29年度 収支予算書承認の件
収支予算書

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
年 会 費	26,000	13名	総 会 費	35,000	29年度総会費
総 会 費	35,000	7名	通 信 連 絡 費	16,000	会報発送費外
支 部 振 興 助 成	55,000	支部総会助成1万円 支部会報助成2万円 年会費助成1.5万円 HP助成1万円	会 報 費	38,880	支部報18号
			役 員 会	2,000	支部長会費
			事 務 費	3,000	事務用品他
			交 通 費	30,000	支部長出席旅費等
			慶 弔 費	5,000	
			予 備 費	12,000	インターネット費用外
前 期 繰 越 金	420,144		次 年 度 繰 越 金	394,264	
収 入 の 部 合 計	536,144		支 出 の 部 合 計	536,144	

第四号議案

平成二十九年 事業計画承認の件

平成二十九年 事業計画案

平成二十九年四月 一日から
平成三十年三月三十一日まで
一、十八回定期総会
開催日 平成二十九年十月二十
九日(日)
会 場 ホテルモナーク鳥取
二、支部報の発行
第十九号(十月一日)

Dブロック支部長会の報告

- 三、全国支部長会・ブロック会議への出席
- 他県支部との交流を図る
- 四、役員会
- 四半期(三か月)毎の開催を期す
- 五、会員の拡大
- 定期総会の出欠の返信者へのフォローをして参加を促す
- 六、支部の広報
- 支部HPの活用を促進して、会員へ支部活動への参加を促進する

三月三日Dブロック支部長会が徳島市で開催され、代理出席しました。勝田同窓会長ほか、参加は沖縄、宮崎、岡山、愛媛、香川、徳島の各県支部長でした。勝田会長の挨拶では、ブロック支部長の開催はB(関東)とDが常時開催で、A(北海道、東北)C(東海、北陸、近畿)では休眠あるいは不定期開催の現状で、Dブロックの活動には感謝しているとのことでした。

また今年の入学者は前年比一二〇%で受験者数約七千人中、千六

幹事長 森尾邦夫





百人の入学となる予定で大学、同窓会共に一安心だと報告がありました。

同窓会本部では同窓生八万九千人のデータを正確化し、経営者リストも整理して今後の入学者、卒業生の参考に役立てる方針、ということでした。本学では創立九十年を迎え募金を、来年度末までお願いしています。十一月十七日に記念式典を開催するようです。各支部の報告では、どこも運営に苦労している様子でした、その中で昨年二月に発足した宮崎県支部では設立総会参加は二十二名、十一月の定期総会には十二名参加で

スタートされたとのことでした。我が支部ホームページの報告をしたところ、同窓会ではかなり評価が高いと、会長はご存知でした。各支部の活性化の為、同窓会、本学も各支部総会には積極的に出席させてもらっているということでした。

寸感

幹事兼総務担当 岡本 茂

二〇一七年十一月十三日、本学(千葉県市川市)は、日本の大学として初となる「自然エネルギー一〇〇%大学」への宣言を発表しました。この宣言は、教育機関として初めて自然エネルギー一〇〇%プラットフォームの「自然エネルギー一〇〇%宣言団体」に登録されました。

日本の大学単体では日本一大きいメガソーラー発電所(敷地約四万六七八一㎡に約一万枚のソーラーパネルを設置)を、千葉県野田市の大学所有地に建設し、二〇一四年四月より「太陽光発電事業」に参入しています。二〇一六年度には、一般家庭約八〇〇世帯が一年間に使う電力量に相当する年間約三一七万kwhを発電しました。野田メガソーラーは、二〇一四年度、同大学のキャンパスで使用する電気の七七%に相当する電力

量を発電しました。現在、同大学の自然エネルギー一〇〇%エコキャンパスを目指した取り組みは、残りの二三%を省エネ・創エネでまかなうことを目指しており、二〇一七年度より学長プロジェクトとして位置づけられ全学で取り組まれています。また、プロジェクトの実施主体としてCUCエネルギー株式会社を設立し、すでにキャンパスの全棟の照明をLED化、野田メガソーラーの敷地内に太陽光の追加増設などに着手し、教員による学生プロジェクトの準備も進められています。二〇一八年度目標

千葉商科大学をネットで日本初の「RE100大学」にする
・大学所有のメガソーラー野田発電所等の発電量と千葉商科大学市川キャンパスの消費電力を同量にする
二〇二〇年度目標
千葉商科大学をネットで日本初の「自然エネルギー一〇〇%大学」にする
・大学所有のメガソーラー野田発電所等の発電量と千葉商科大学市川キャンパスの消費エネルギーを同量にする
まさしく「進化する大学」である。

[ホームページのご案内] 鳥取県支部のHP

http://www12.plala.or.jp/cuc_tottori/
「千葉商科大学 同窓会」で検索出来ます
ぜひご覧ください

[事務局よりの連絡]

鳥取県支部、平成30年度会費をお願いしています。会費は2,000円です。同封の郵便振替用紙にてお願いします。

又、郵便振替口座は、下記の通りです。

口座番号 01340-3-62952

加入者名 千葉商大鳥取県支部
または

銀行口座 鳥取銀行 米子駅前支店
普通2421031

口座名 千葉商大鳥取県支部